

教育原理

第4テーマ 教育とは何か(2)

二つの教育観

第3テーマの要点



例年、口頭のみで伝えてきたことを、
ある程度文字でも示す。

第3テーマの要点

教育を、もっとも広く簡潔に定義すれば
どのように説明できるか。



「教育は、〇〇の△△を□□することである」

第3テーマの要点

教育を、もっとも広く簡潔に定義すれば
どのように説明できるか。

この定義に、「教育の目的」を加えれば
どのように説明できるか。



「教育は、『.....のために(～を目指して)』
○○の△△を□□することである」

第3テーマの要点

【重要】

- ・この「教育の定義」はとにかく重要である。

まずは「教育は、〇〇の△△を□□することである」と端的に理解すればよい。

第3テーマの要点

【重要】

- ・「教育は、人間の成長発達を支援することである」



第3テーマの要点

【重要】 学校教育法第22条における幼稚園の目的

・「幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」



第3テーマの要点

【重要】 学校教育法第22条における幼稚園の目的

・「幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」



第3テーマの要点

【重要】 学校教育法第22条における幼稚園の目的

・「幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」



第3テーマの要点

【重要】 学校教育法第22条における幼稚園の目的

・「幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」



第3テーマの要点

【重要】 実習に際しての前提的な理解

1. 幼児は、自ら成長発達する能力を有している。
2. 保育者は、幼児の成長発達を助長する。

【重要】!



【重要】 すなわち、実習生ではあっても
1.という前提に立った上で、2.を行う。



第3テーマの要点

【重要】 実習に際しての前提的な理解

1. 幼児は、自ら成長発達する能力を有している。
2. 保育者は、幼児の成長発達を助長する。

とにかく【重要】!



【重要】 具体的には、「実習における幼児との関わり」は、1.を前提としつつ、2.の目的のもとで行われなければならない。



第3テーマの要点

【重要】 実習に際しての前提的な理解

1. 幼児は、自ら成長発達する能力を有している。
2. 保育者は、幼児の成長発達を助長する。

【重要】

単に、子どもを笑顔にする、楽しませる、お世話をするという行為は、幼稚園教育の目的ではない。

その手段としてはあり得ても目的とはなり得ない。



第3テーマの要点

【重要】 実習に際しての前提的な理解

1. 幼児は、自ら成長発達する能力を有している。
2. 保育者は、幼児の成長発達を助長する。

【重要】!



【重要】

1.を前提としつつ、2.を目的として子どもと関わることができないなら、「到達度不十分」



第3テーマの要点

【重要】 実習に際しての前提的な理解

1. 幼児は、自ら成長発達する能力を有している。
2. 保育者は、幼児の成長発達を助長する。

【重要】

なお、「子どもの成長発達の支援」=教育という理解は、保育所等でも変わらない。

すなわち、これは、保育者になる上で不可欠な理解ということになる。



第3テーマの要点

【重要】 実習に際しての前提的な理解

1. 幼児は、自ら成長発達する能力を有している。
2. 保育者は、幼児の成長発達を助長する。

【重要】

「目先の保育技術」にとらわれることなく、
「保育者として不可欠な理解、意識」を持つことが重要である。



第3テーマの要点

☆とにかく、以下の理解は重要である。

- ・ヒトは、生まれながらにして自ら成長発達する能力を備えている。
- ・教育は、学習者の成長発達を支援することである。
- ・保育者は、子どもの成長発達を支援する＝子どもを教育する職責を負う。

本題へ

- 第3テーマの要点については以上とする。
- 以下、第4テーマの本論に入る。

本題へ

【重要】

本テーマも理論系の内容である。

与えられた情報を「記憶する」のではなく、
「理屈で解る」＝「理解する」ことを求める。

第4テーマ 二つの教育観

0本科目における教育の定義(復習)

I 二つの教育観

- 1 「教」の意味合いを重んじる教育観
- 2 「育」の意味合いを重んじる教育観
- 3 二つの教育観の現代的課題



第4テーマ 二つの教育観

0本科目における教育の定義(復習)

I 二つの教育観

- 1 「教」の意味合いを重んじる教育観
- 2 「育」の意味合いを重んじる教育観
- 3 二つの教育観の現代的課題



I は、2→1→3の順で進める。

本テーマの要点

- 「二つの教育観」の特徴、それぞれの違いの理解
 - 誰を中心とするか
 - どのような教育方法がとられるか
 - どのような教育目的がとられるか
 - 教育観に応じた教育内容は何か



一見分かりにくいですが、それ程難しくはない。

第4テーマ 二つの教育観

☆レジユメの【学習のヒント】



第4テーマ 二つの教育観

☆レジユメの【学習のヒント】



第4テーマ 二つの教育観

☆レジユメの【学習のヒント】

(答え中.....)



第4テーマ 二つの教育観

0 本科目における教育の定義(第3テーマ時)

さて、次の0へ移る。



第4テーマ 二つの教育観

0 本科目における教育の定義(第3テーマ時)

教育の定義は、本テーマ冒頭で扱った
ので基本的には割愛する。

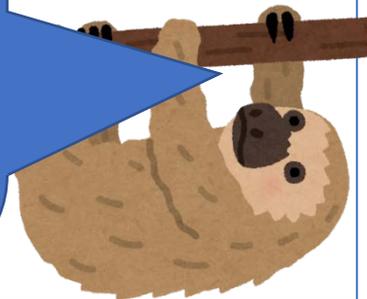


第4テーマ 二つの教育観

0 本科目における教育の定義(第3テーマ時)

※は、教育の目的には様々なものがあるということである。

心の発達、身体の発達、知的な発達、芸術的な発達、ルール・マナーの習得.....これらは、すべて「教育の目的」になり得る。



第4テーマ 二つの教育観

0 本科目における教育の定義(第3テーマ時)

教育の目的が異なるだけで、
「成長発達の支援」という点は
共通である。



第4テーマ 二つの教育観

0 本科目における教育の定義(第3テーマ時)



第4テーマ 二つの教育観

- 「自発的な子ども」
- 「個性ある男性」
- 「立ち居振る舞いが美しい人」
- 「やさしい少年」
- 「九九をおぼえた幼児」
- 「自ら考える力を持つ人材」
- 「感性豊かな少女」



第4テーマ 二つの教育観

1「自発的な子ども」

- ・「個性ある男性」
- ・「立ち居振る舞いが美しい人」
- ・「やさしい少年」

2「九九をおぼえた幼児」

- ・「自ら考える力を持つ人材」
- ・「感性豊かな少女」



第4テーマ 二つの教育観

1「自発的な子ども」

- ・「個性ある男性」
- ・「立ち居振る舞いが美しい人」
- ・「やさしい少年」

2「九九をおぼえた幼児」

- ・「自ら考える力を持つ人材」
- ・「感性豊かな少女」

問 この二つを目指す教育は、
同じように行われるか？



第4テーマ 二つの教育観

1「自発的な子ども」

- ・「個性ある男性」
- ・「立ち居振る舞いが美しい人」
- ・「やさしい少年」

2「九九をおぼえた幼児」

- ・「自ら考える力を持つ人材」
- ・「感性豊かな少女」

解 「同じようには行われない」。



第4テーマ 二つの教育観

1「自発的な子ども」

- ・「個性ある男性」
- ・「立ち居振る舞いが美しい人」
- ・「やさしい少年」

2「九九をおぼえた幼児」

- ・「自ら考える力を持つ人材」
- ・「感性豊かな少女」

【重要】 キーワード:「子どもの個性・興味・関心、自発性・主体性」など。



第4テーマ 二つの教育観

1「自発的な子ども」

- ・「個性ある男性」
- ・「立ち居振る舞いが美しい人」
- ・「やさしい少年」

2「九九をおぼえた幼児」

- ・「自ら考える力を持つ人材」
- ・「感性豊かな少女」

個性・興味・関心、
自発性・主体性

それぞれを目指す教育は、子どもの
個性、興味、関心等をどう扱うか？



第4テーマ 二つの教育観

【要点の整理】

- 教育は、学習者の成長発達を支援することである。
- 教育の目的は多様である。
- 教育目的の違いにより、教育の方法は異なる。
- 教育の目的の違いにより、学習者(子ども)の個性・興味・関心、自発性・主体性の扱い方が変わる。



【要点の整理】

- 教育は、学習者の成長発達を支援することである。
- 教育の目的は多様である。
- 教育目的の違いにより、教育の方法は異なる。
- 教育の目的の違いにより、学習者(子ども)の個性・興味・関心、自発性・主体性の扱い方が変わる。

第4テーマ 二つの教育観

【キーワード】

・子どもの個性・興味・関心、自発性・主体性

☆子どもの成長発達の支援＝子どもへの教育



第4テーマ 二つの教育観

【キーワード】

・子どもの個性・興味・関心、自発性・主体性

☆子どもの成長発達の支援＝子どもへの教育



第4テーマ 二つの教育観

【キーワード】

・子どもの個性・興味・関心、自発性・主体性

☆子どもの成長発達への支援＝子どもへの教育



第4テーマ 二つの教育観

【キーワード】

・子どもの個性・興味・関心、自発性・主体性

☆子どもの成長発達への支援＝子どもへの教育

思考停止は危険であり、歪である。

一切の注意や指導をしない「教育」など。



第4テーマ 二つの教育観

【キーワード】

・子どもの個性・興味・関心、自発性・主体性

☆子どもの成長発達への支援＝子どもへの教育

色々な教育観・教育方法が存在する。



第4テーマ 二つの教育観

【キーワード】

・子どもの個性・興味・関心、自発性・主体性

☆子どもの成長発達への支援＝子どもへの教育

→「子どもの個性～」を尊重し重視する教育観と、
それを優先しない教育観が存在する。



第4テーマ 二つの教育観

I 二つの教育観ー

「教」の意味合いを重んじる教育観と

「育」の意味合いを重んじる教育観



4 - I 「教」「育」という二つの教育観



4-1 「教」「育」という二つの教育観

【復習】

・教＝孝(なろう*、おしえる)＋
支(軽くたたいて注意する、鞭撻する**)
→(何かを授け与える、倣い学ぶ)

・育＝云(子)＋月(肉、養う)
→(子を産み養う、子が産まれ成長する)

*漢字で書くと、「倣う」(先例に従う、まねをする)

**鞭撻(べんたつ)...むちで打ってこらしめること

4-1 「教」「育」という二つの教育観

【復習】

・教 = 孝 (**ならう***、おしえる) +
支 (軽くたたいて注意する、鞭撻する**))
→ (何かを授け与える、倣い学ぶ)

・育 = 云 (**子**) + 月 (**肉**、養う)
→ (子を産み養う、子が産まれ成長する)

*漢字で書くと、「倣う」(先例に従う、まねをする)

**鞭撻(べんたつ)...むちで打ってこらしめる



4-1 「教」「育」という二つの教育観

【キーワード】

・子どもの個性、興味、関心、自発性、主体性

☆子どもの成長発達の支援＝子どもへの教育



4-1 「教」「育」という二つの教育観

【キーワード】

・子どもの個性、興味、関心、自発性、主体性

☆子どもの成長発達の支援＝子どもへの教育

※以下のように設定する。

「教」＝個性～などを重視しない教育観

「育」＝個性～などを尊重し育む教育観



4-1 「教」「育」という二つの教育観

【キーワード】

・子どもの個性、興味、関心、自発性、主体性

☆子どもの成長発達の支援＝子どもへの教育

※以下のように設定する。

「教」＝個性～などを重視しない教育観

「育」＝個性～などを尊重し育む教育観



4-I 「教」「育」という二つの教育観

2 「育」の意味合いを重んじる教育観



4-1-2 「育」……を重んじる教育観

「子ども中心」、「子どもの個性・興味・
関心、自発性・主体性」の尊重・重視



4-1-2 「育」……を重んじる教育観

※教育により育まれるのは何か。

- ・(子どもの)

「(子どもの)個性・興味・関心、自発性・
主体性」



4-1-2 「育」……を重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか

- 「**児童中心主義教育**」

……子どもを教育の中心に置く考え方

- 「**経験主義教育**」

- 「**進歩主義教育**」

※およそ250年前から広がった教育観



4-1-2 「育」……を重んじる教育観

※何を教育することに向いているか。

・教育内容としては？



4-1-2 「育」……を重んじる教育観

※何を教育することに向いているか。

→子どもの個性、興味、関心等を育むこと

・教育内容としては？



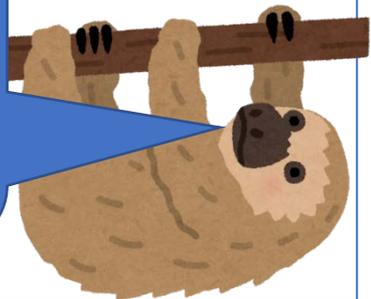
4-1-2 「育」……を重んじる教育観

※何を教育することに向いているか。

→子どもの個性、興味、関心等を育むこと

・教育内容としては？

(考え中.....)



4-1-2 「育」……を重んじる教育観

※何を教育することに向いているか。

→子どもの個性、興味、関心等を育むこと

・教育内容としては？

「何でも良い」



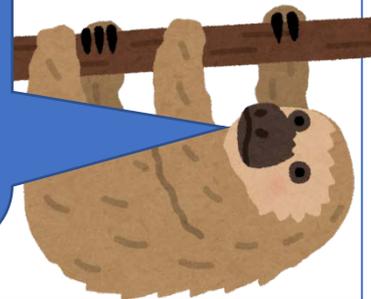
4-1-2 「育」……を重んじる教育観

※何を教育することに向いているか。

→子どもの個性、興味、関心等を育むこと

・教育内容としては？

子どもの個性、興味、関心等を
育めれば、何を学んでも良い。



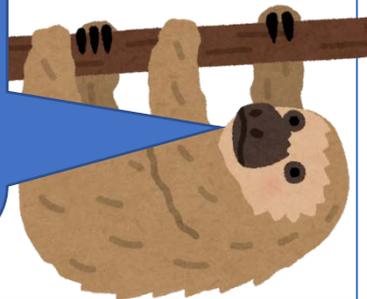
4-1-2 「育」……を重んじる教育観

※何を教育することに向いているか。

→子どもの個性、興味、関心等を育むこと

・教育内容としては？

逆説的には、子どもの個性、興味、関心等を育むために、「何を」「どのように」学ぶか考える必要がある。



4-1-2 「育」……を重んじる教育観

【この部分のまとめ】

☆「育」の意味合いを重んじる教育観＝
「子ども中心の教育観」

「子どもの個性・興味・関心、自発性・主体性の
伸長を主たる目的とする教育観【重要】!



4-I 「教」「育」という二つの教育観

1 「教」の意味合いを重んじる教育観



4-I-1「教」を……重んじる教育観



4-I-1「教」を……重んじる教育観

※ E.クレークによる教育の定義



4-I-1「教」を……重んじる教育観

※ E.クレークによる教育の定義

(熟読中……)



4-I-1「教」を……重んじる教育観

※ E.クレークによる教育の定義

【意識】

教育とは、子どもへ文化を移植することで、
大人社会の一員へ組み入れていく行為である。

「文化の移植？」



4-I-1「教」を……重んじる教育観

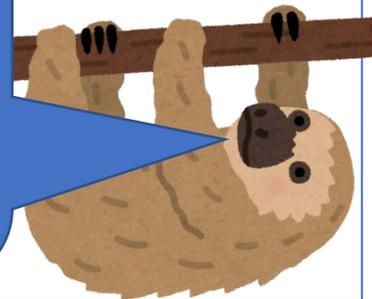
※ E.クリークによる教育の定義

【意訳】

教育とは、子どもへ文化を移植することで、
大人社会の一員へ組み入れていく行為である。

【重要な問】

こうした教育観の元では、
子どもの個性・興味・関心、自発性・
主体性はどのように扱われるか。



4-1-1「教」を……重んじる教育観

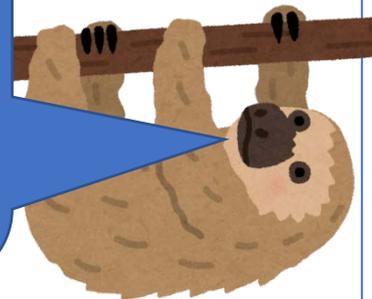
※ E.クリークによる教育の定義

【意訳】

教育とは、子どもへ文化を移植することで、
大人社会の一員へ組み入れていく行為である。

【重要な解答】

教育をこのように捉えた際、子どもの
個性・興味・関心、自発性・主体性は
重要視されない。



4-I-1「教」を……重んじる教育観

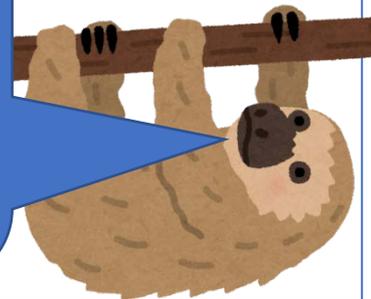
※ E.クリークによる教育の定義

【意訳】

教育とは、子どもへ文化を移植することで、
大人社会の一員へ組み入れていく行為である。

【重要】

そこで重視されるのは、「教育内容」
であり、「教育の速さ、効率性」である。



4-1-1 「教」を……重んじる教育観

※教育において、何を重視するか。

「文化内容の伝達、技能・技術の伝授、思考形式・行動様式の教導および鍛錬」(同上書)

→「一定の**教育内容**を、教育する側が、教育を受ける側に**迅速**かつ**効率的**に習得させていくこと」



4-1-1「教」を……重んじる教育観

※教育において、何を重視するか。

・「一定の**教育内容**を、教育する側が、教育を受ける側に**迅速**かつ**効率的**に習得させていくこと」



4-1-1「教」を……重んじる教育観

※教育において、何を重視するか。

教育とは、子どもへ大人社会の文化を迅速かつ効率的に移植することで、大人社会の一員へ確実に組み入れていく行為である。

とにかく、「教え込む中身」、「効率性」、「速さ」を重視した教育観となる。



4-1-1「教」を……重んじる教育観

※教育において、何を重視するか。

教育とは、子どもへ大人社会の文化を迅速かつ効率的に移植することで、大人社会の一員へ確実に組み入れていく行為である。

教育の中心にはおとなが位置する。



4-I-1「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。



4-1-1「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」

教育の中心に子どもがない！



4-1-1「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」

子ども中心の教育を！と学ぶことが多い。



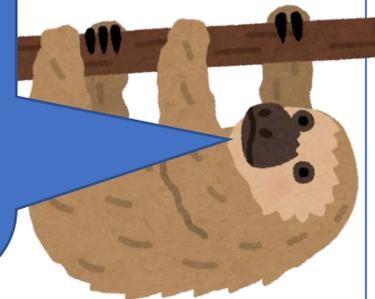
4-1-1「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。

【重要な問】

では、こうした教育は絶対的に行われるべきではないのか。これらの教育が適する教育の内容、求められる場面はないのか。

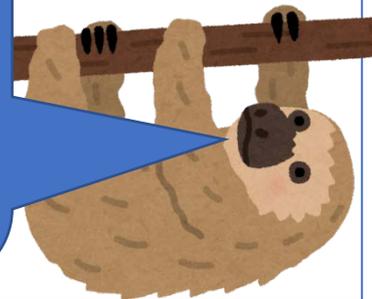


4-1-1「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。

保護者、教員から、「詰め込まれた」
「押しつけられた」内容・場面はないか。

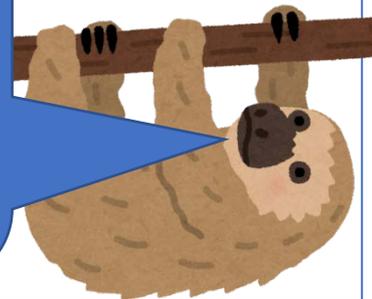


4-1-1 「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
 - ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。
- これらが有用であった内容、機会は？

「大人社会の文化を迅速かつ効率的に移植する」ような教育に心当たりはないか。



4-1-1「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
 - ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。
- これらが有用であった内容、機会は？

(熟考中……)



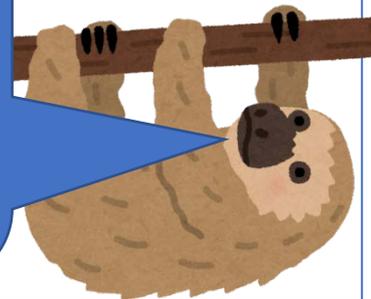
4-1-1「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
 - ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。
- これらが有用であった内容、機会は？

【重要な解】

それはいわゆる「しつけ」であり、
「ルール・マナー」の修得などである。



4-1-1「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。
→ 「しつけ」「ルール・マナー」など



4-1-1「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。
→ 「しつけ」「ルール・マナー」など

子どもの個性等<ルール・マナーの修得



4-1-1 「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。
→ 「しつけ」「ルール・マナー」など

子どもの個性等<本人の安全、社会秩序



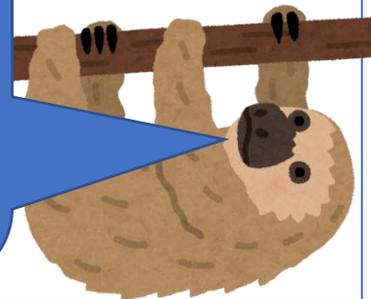
4-1-1 「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。
→ 「しつけ」「ルール・マナー」など

【重要】

「注入」「詰め込み」＝「成長・発達の支援」



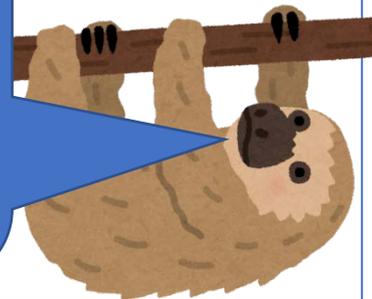
4-1-1 「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。
→ 「しつけ」「ルール・マナー」など

【重要】

「子どもの個性等の育成」＝
「成長・発達の支援」



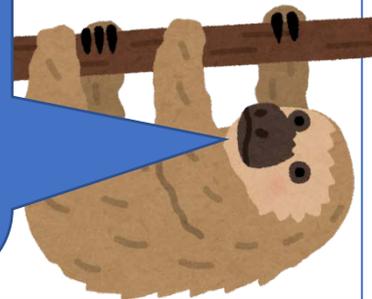
4-1-1 「教」を……重んじる教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・「教材中心教育」
- ・「教師中心教育」
 - ・おとなが教育の中心に位置する。
 - ・子どもの個性・興味・関心などを重要視しない。
→ 「しつけ」「ルール・マナー」など

【重要】

- ・「注入」「詰め込み」
 - ・「子どもの個性等の育成」
- どちらも、「成長・発達の支援」＝教育



4-I 「教」「育」という二つの教育観

3 二つの教育観の現代的課題



4 - I - 3 二つの教育観の現代的課題

「教」、「育」、「おとな」、「こども」という言葉を空欄へ入れる。



4 - I - 3 二つの教育観の現代的課題

- ・歴史的に形成されてきた社会的制度や文化遺産等の効率的受容(おとな側の原理) = 「教」
- ・子どもの「学ぶ権利」や個性を尊重した、個々の子どもの主体的成長(子ども側の原理) = 「育」



4 - I - 3 二つの教育観の現代的課題

・歴史的に形成されてきた社会的制度や文化遺産等の効率的受容(おとな側の原理) = 「教」

VS. ?

・子どもの「学ぶ権利」や個性を尊重した、個々の子どもの主体的成長(子ども側の原理) = 「育」



4-I-3 二つの教育観の現代的課題

・歴史的に形成されてきた社会的制度や文化遺産等の効率的受容(おとな側の原理) = 「教」

~~VS. ?~~

・子どもの「学ぶ権利」や個性を尊重した、個々の子どもの主体的成長(子ども側の原理) = 「育」



4-1-3 二つの教育観の現代的課題

- ・歴史的に形成されてきた社会的制度や文化遺産等の効率的受容(おとな側の原理)＝「教」
- ・子どもの「学ぶ権利」や個性を尊重した、個々の子どもの主体的成長(子ども側の原理)＝「育」

【重要】

- ・「教」、「育」は教育という営みの両輪である。保育者も、子どもの個性等を尊重しつつ子どもの社会性などを育んでいく。



4-1-3 二つの教育観の現代的課題

・歴史的に形成されてきた社会的制度や文化遺産等の効率的受容(おとな側の原理)＝「教」

・子どもの「学ぶ権利」や個性を尊重した、個々の子どもの主体的成長(子ども側の原理)＝「育」

【重要・参考】

「集団生活を通じて……自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと」

＝幼稚園の教育の目標(学校教育法第23条2)



4-I-3 二つの教育観の現代的課題

- ・歴史的に形成されてきた社会的制度や文化遺産等の効率的受容(おとな側の原理)＝「教」
- ・子どもの「学ぶ権利」や個性を尊重した、個々の子どもの主体的成長(子ども側の原理)＝「育」

【重要】

- ・「教」、「育」は教育という営みの両輪である。



本テーマの要点

- 「二つの教育観」の特徴、それぞれの違いの理解
 - 誰を中心とするか：**子ども・おとな**
 - どのような教育方法がとられるか：（略）
 - どのような教育目的がとられるか：（略）
 - 教育観に応じた教育内容は何か：（略）

キーワード：**個性・興味・関心、自発性・主体性**



Moodle小テストについて

※以上、第4テーマを終了とする。

- ・理論的な内容ではあるが、具体の教育・保育の基準や実践とも直接関わっている。
- ・必要に応じて、レジユメの問や、Moodleの小テストを活用して理解を深めて欲しい。

【重要】自己学習の重要性について

※大学の授業では、通学・オンラインに関係なく「自己学習」が重要な意味を持つ。

※「示された答えを憶える」というような意識では、保育者としての力は伸ばせない。

※実際の保育に、「模範解答」はあり得ない。

※基礎的な知識技術は必要であるが、それを元に現実の子ども・状況等を「考える力」が求められる。

おわりに

- ・先行き不透明であるが、「なすべきこと」をやっていきましょう。
- ・次回はそのまま第5テーマの学習をします。

